

伝二条為氏筆新古今和歌集切 補遺

一

本稿は、拙稿 2007「棄てられた本文——伝二条為氏筆新古今和歌集切を端緒として——」『京都大学國文学論叢 第18号』（以下「前稿」）の補遺にあたる。まず、前稿において未確認であった東京都立中央図書館加賀文庫蔵『古名筆帖』（加 5032-1）所収の一葉と、小林強氏御所蔵の一葉、さらに前稿脱稿後に確認できたツレの断簡について報告する。あわせて、追加断簡をふまえて前稿での考察を補いたいと思う。

著者の意向により「一 はじめに」のみ公開

舟見一哉